

2) 一般道路の交通の変化

交通量の変化

- シミュレーションの結果、環状 8 号線・環状 7 号線など南北方向の道路の交通量が減少すると試算された。一方、東西方向の道路は、一部の区間を除いて大きな変化は現れないと考えられる。
- なお、個別路線の交通量の変化は次のように試算された。
 - 環状 8 号線では、目白通り～五日市街道間で 0.8 万台/日～ 1.4 万台/日減少、甲州街道（国道 20 号）～国道 246 号間で 0.9 万台/日～ 1.6 万台/日など、ほとんどの区間で減少しているが、人見街道～高井戸 IC 間は 1.1 万台/日増加している。
 - 環状 7 号線では、新青梅街道～青梅街道間で 1.3 万台/日～ 1.6 万台/日減少、方南陸橋～国道 246 号間で 0.7 万台/日～ 1.4 万台/日の減少が見られる。
 - 青梅街道（高円寺陸橋下交差点～北原交差点間）には大きな変化は見られない。
 - 甲州街道（大原交差点～下布田交差点間）では環状 8 号線～吉祥寺通り間で 0.8 万台/日～ 1.0 万台/日増加するが、他の区間に大きな変化は見られない。
 - 国道 246 号には大きな変化は見られない。